レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和4年12月13日	使用開始日			
登録診療科	血液内科	申請医師	松永一美	化学療法委員会承認年月	年　月
レジメン名	移植前処置 HD-BuTT療法				
疾患名	中枢原悪性リンパ腫	適応の備考	day9に造血幹細胞移植を行う		
適応分類					
1コース日数	9　日間	総コース数	1　コース	催吐性リスク	day1-4中等度　day5-6軽度(国内第Ⅰ相試験:嘔吐高頻度)
抗がん剤投与量・投与日	ブスルフェクス3.2mg/kg　day1-4、リサイオ5mg/kg　day5-6				

治療スケジュール　・　投与日程（投与日は●）　(day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量		投与時間	開始2日前	開始1日前	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	主ルート	グラニセトロン注ﾊﾞｯｸﾞ1mg/50mL	1	本 / body	30 分			●	●	●	●					
	中心静脈	デキサート注6.6mg	1	本 / body				●	●	●	●					
	注射	デキサート注1.65mg	2	本 / body				●	●	●	●					
2	主ルート	グラニセトロン注ﾊﾞｯｸﾞ1mg/50mL	1	本 / body	30 分							●	●			
	中心静脈	デキサート注1.65mg	3	本 / body								●	●			
	注射			/												
3	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分			●	●	●	●	●	●			
	中心静脈			/												
	注射			/												
4	主ルート	生食500mL	5.333	mL / kg				●	●	●	●					
	中心静脈	ブスルフェクス	3.2	mg / kg	3 時間			●	●	●	●					
	注射			/												
	11倍に希釈する															
5	主ルート	生食250mL	1	本 / body								●	●			
	中心静脈	リサイオ	5	mg / kg	2 時間							●	●			
	注射			/												
6	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分			●	●	●	●	●	●			
	中心静脈			/												
	注射			/												
		アプレピタントカプセル	125	mg / body								●				
	経口投与			/												
				/												
	リサイオの投与1時間前に服用															
		アプレピタントカプセル	80	mg / body									●	●		
	経口投与			/												
				/												
	分1朝食後(分1午前中)															
		デカドロン錠	4	mg / body										●	●	
	経口投与			/												
				/												
	分1朝食後															
		イーケプラ錠	1000	mg / body		●	●	●	●	●	●	●	●			
	経口投与			/												
				/												
	分2朝・夕食後　ブスルフェクス投与2日前から終了後2日目まで内服															

【投与上の注意】

ブスルフェクス:痙攣をおこす可能性があるため、あらかじめ抗痙攣薬の使用を考慮すること

ブスルフェクス:肥満患者(BMI25以上)では投与量が過多にならないように、標準体重から換算した投与量を考慮すること。

ブスルフェクス:中心静脈カテーテルを留置して投与すること。

末梢静脈に投与すると薬液の漏出による局所の組織障害を起こすことがあるので、必ず中心静脈からの点滴静脈内投与とし、皮下、筋肉内には投与しないこと。

ブスルフェクス:室温(約25℃)で用時調製し、調製から8時間以内に投与を終了すること。

リサイオ:希釈後の薬液は0.5～4.4mg/mLの濃度において室温で26時間までの安定性が確認されている。

リサイオ:0.2μmのインラインフィルターを用いて投与すること。